

新収蔵品展

入場
無料

昨年度開催した「特別展 郷土牛久の先人たち—牛久沼の畔で華開いた芸術文化—」の

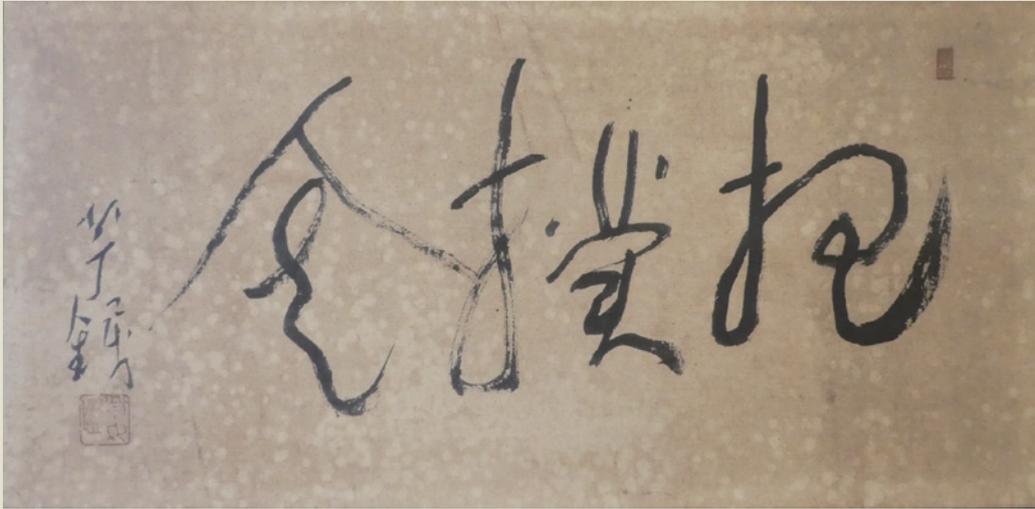
効果により、郷土の偉人に関する資料の寄贈・寄託が相次ぎました。

また今年度は、現在一般公開にむけて整備を進めている(仮称)住井すゑ記念館の展示品として、

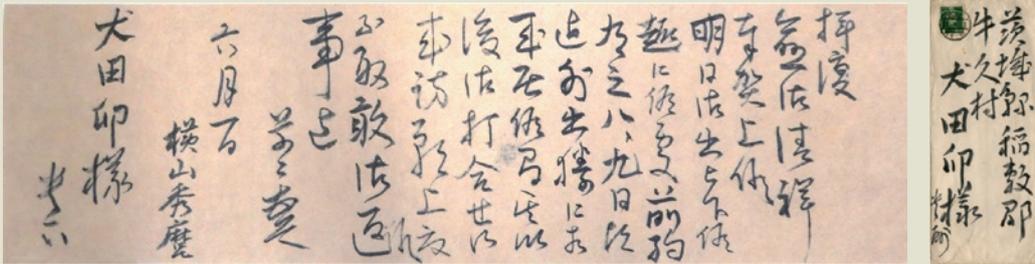
住井・犬田夫妻の二男犬田充氏のご遺族から、日本近代文学館所蔵の小川芋銭書「抱樸舎」や

「横山大観書簡(犬田卯宛)」など貴重な資料の複製もご寄贈いただきました。

牛久市の新たな財産となった郷土の偉人に関する収蔵品をどうぞお楽しみください。

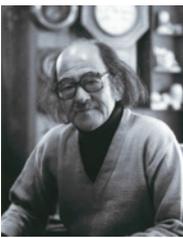


小川芋銭書「抱樸舎」大正6年頃【複製】(原本は日本近代文学館蔵)



左:横山大観書簡(犬田卯宛) 昭和14年【複製】(原本は日本近代文学館蔵)
右:横山大観封筒(犬田卯宛) 昭和14年

鈴木
草牛



牛久出身の日本画家。独自の線で郷土の四季や各地の風景・人々を描いた。

住井
すゑ



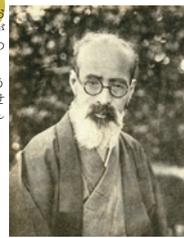
自由と平等を訴える作品を数多く執筆した。代表作は『橋のない川』。

犬田
卯



農民解放を目指した農民文学者。代表作は『土に生れて』。

小川
芋銭



明治から昭和初期に活躍した画家。牛久に居住し、特に児童の絵を多く描いた。



牛久藩主 山口家

室町～戦国時代に、西国の大大名として名を馳せた大内氏の流れをくむ。12代270年にわたって牛久藩を統治した譜代大名。

主な展示資料・作品

小川芋銭書「抱樸舎」大正6年頃【複製】

小川芋銭書簡(犬田卯宛) 大正15年

小川芋銭 表紙絵「蟬と蛇」 昭和10年頃【複製】

山口弘達書 明治～昭和7年

小川芋銭書簡(大宮伍三郎宛) 昭和9年【寄託】

鈴木草牛「筑波山と農村」 昭和11年

小川芋銭「獺娘と河童」 昭和12年【複製】

横山大観書簡(犬田卯宛) 昭和14年【複製】

住井すゑ原稿『橋のない川 第8部』 平成4年頃【複製】

【お問い合わせ】

文化芸術課

☎871-2300

※月～金のみ

(第2・4月曜日除く)

開催場所

かつぱの里ギャラリー(かつぱの里生涯学習センター内)

開催期間

令和元年12月8日(日)まで

午前9時～午後5時

※第2・4月曜日は休館
(月曜日が祝日の場合は翌日休館)